



当たり前⇔有難い

1週間ぶりの更新となりました。

何があったかご存じの方も多いと思いますが、インフルエンザにかかってしまい、しばらく学校に来ることが叶わない状態にあったのです。

おそらくですが、人生で初めての体験です。

大人になってからインフルエンザに罹った記憶がなく、子どもの頃にもかかった記憶がありません。だからなのかもしれませんが、とにかく今回の症状は厳しいものがありました。

高熱にうなされること数日間。

満身に寝られない日々が続きました。

鼻が詰まって呼吸することもままならず食欲もがた落ちになりました。

食べたり寝たり呼吸をしたりという、普段当たり前のようにできていることがすべて難しくなりました。

正直なところ、インフルエンザとはこれほどに大変な病気であったのかと心底驚いたところでした。

かかったのが先週の勤労感謝の日ですから、丸々1週間学校に来れない日々が続くこととなりました。

ようやく熱も下がり、呼吸も楽にできるようになって、食事もうるようになる、久しぶりに今日学校に来ることができました。

久しぶりに教室でみんなに会って、「ああ日常が戻ってきたなあ」とその有難さをかみしめているところです。

病気自体はとても大変なものでしたが、普段中々気づくことのできない日々の素晴らしさに気づくことのできるチャンスの時間でもありました。

そうそう、先週は強歩会がありましたね。

20 kmの道中には色々な事が起きたと思いますが、どの子も最後まで立派に歩き切りました。

およそ5時間歩く中で、みんなと色々な話げできたことが私にとっては何より嬉しい出来事でした。

あんなにゆっくり、語らうことのできるチャンスは初めてだったかもしれません。





そして、ゴールにたどり着いたときに盛大な拍手で迎えてくれたお家の方々。

「よく頑張ったね！」

と笑顔でゴールをお祝いしてもらった瞬間の子どもたちの嬉しそうな表情が忘れられません。

こんな風に、新しい物事にチャレンジできることも、ともに力を貸しあえる仲間がいることも、達成した時に自分のことのように喜んでくれるお家の方々がいることも、全部当たり前ではありませんね。

とてもとても、有難いことです。

11月はあと2日で終わり、2023年も残りわずかとなりました。

まもなく終わる今年の日々も、大切に感謝して過ごしたいと思います。

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcipcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

